

1 事業の成果

今回第 14 回目の総会を開催することになりますが、来年度は 15 回目の総会になることに大きな感慨を抱いています。こんなに続けてこられたことも多方面の皆様から活動のための支援を頂いていることに感謝いたします。

2018 年度の定期開催「サロン交流会」の参加者数は年間 313 名、月平均 25 名ほどになります。また、新規参加の方が年間で 70 名もおられることは、京都新聞に掲載されたことや関心を持っておられる方が大きく関係しているとアンケートでも感じます。そのためか京都新聞で告知記事が掲載されない時には、心配をして問合せして来られる方もおられます。しかしながら会員登録をして頂ければハガキでご案内をしますという告知をもっと周知していかなければと思っています。

また、「鍼灸治療」「医療講演」「リハビリ講演」「音楽療法コンサート」などの催しに合計 242 名のご参加がありました。これも京都新聞に掲載されたり、ハガキが届くとその日には問合せがあるという効果があります。

少しでも多くのパーキンソン病とご家族、支援者の方々が社会から孤立せずに、情報交換や疾患の勉強をしていただき、こんなにも仲間がいるのだという実感を持って頂ければと思います。

最近のご相談が電話またはメールという事例が増えてきました。

特に 2018 年度はメールがかなり多く、特に専門職の方からが目立ちます。

お会いしてご相談というには、なかなか時間と勇気と決断が難しいということでしょうか。

「パーキンソン病の在宅ケア事例検討会」はパーキンソン病の方を支援する立場のケアマネジャー（介護支援専門員）の方を対象に、特有の症状を理解してケアサービスにつなげていただくことを目的とした勉強会ですが、参加したケアマネジャーからは評価が高く、今後も継続して開催を計画しています。

こういった活動を行えるのも会員の皆様に経済的活動支援をして頂いているおかげで無理をせずに事業計画を立てられることが大きいと感じています。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

第2号議案

2018年度決算報告

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象 者の範囲 (E)人数	事業費の金額 (概算)(単 位:千円)
第5条 (1) (2) (3) (4) (5) (6)	*サロン交流会 第143回「楽しく脳活」 第144回「PDの在宅ケア」 第145回「バランスヨーガ」 第146回「公的支援制度」 第147回「話して聞いて会」 第148回「楽しく脳活」 第149回「バランスヨーガ」 第150回「話して聞いて会」 第151回「お役立ち情報」 第152回「楽しく脳活」 第153回「話して聞いて会」 第154回「お役立ち情報」	(B)ひと・まち交流館京都 (A)4/15(C) 3名 (A)5/20(C) 4名 (A)6/18(C) 5名 (A)7/15(C) 5名 (A)8/19(C) 4名 (A)9/16(C) 3名 (A)10/21(C) 4名 (A)11/18(C) 4名 (A)12/23(C) 5名 (A)1/20(C) 4名 (A)2/17(C) 6名 (A)3/17(C) 4名 合計 51名	(D)パーキンソン病の方とご家族、地域支援者 (E)11名 (E)41名 (E)37名 (E)25名 (E)40名 (E)14名 (E)19名 (E)24名 (E)22名 (E)21名 (E)30名 (E)37名 合計 321名	年間計 281
第5条 (2) (3) (4)	パーキンソン病の鍼灸治療 2018	(A)2018年4月1日 13時30分～ 15時30分 (B)ひとまち交流館京都 (C)4名	(D)パーキンソン病の方ご家族 (E)68名	63
第5条 (2) (3) (4)	医療講演会 2018	(A)2018年8月12日 (B)ひと・まち交流館 京都 (C)4名	(D)パーキンソン病の方ご家族 地域支援者 (E)80名	23

第5条 (2) (3) (4)	パーキンソン病と リハビリテーション	(A) 2018年11月23日 (B)ひと・まち交流館 京都 (C)4名	(D)パーキンソン病の方 ご家族 地域支援者 (E)46名	30
第5条 (3)	相談事業 (電話、メール、面談) 電話総数 240件 相談件数 電話 33件 メール 24件	(A) 2018年4月1日～ 2019年3月31日 (B)事務所、ひと・ まち交流館 京都 (C)1名	(D) パーキンソン 病の方 ご家族 地域支援者 (E) 297件	0
第5条 (1) (2)	上京区ケアマネ交流会 パーキンソン病の在宅ケア 事例検討会(協力) (フランスベッド・メディカル ホームケア研究・助成)	(A) 2018年8月15日 14時～16時 (B)上京総合庁舎 (C)6名	(D) 介護支援専門 員 (E)30名	
第5条 (1) (2)	左京南主任ケアマネ研修会 パーキンソン病の在宅ケア 事例検討会(協力) (フランスベッド・メディカル ホームケア研究・助成)	(A) 2018年9月26日 13時～15時 (B)川端診療所 (C)5名	(D) 介護支援専門 員 (E)19名	
第5条 (1) (2)	第6回パーキンソン病の 在宅ケア事例勉強会(主催) フランスベッド・メディカル ホームケア研究・助成)	(A) 2018年11月17日 13時30分～16時 30分 (B)京都リサーチ パーク (C)10名	(D) 介護支援専門 員 (E)17名	
第5条 (1) (2)	京都市深草北部・中部・南部 包括支援センター パーキンソン病の勉強会 (協力) (フランスベッド・メディカル ホームケア研究・助成)	(A) 2019年2月15日 14時～16時30分 (B)伏見消防署大 講堂 (C)13名	(D) 介護支援専門 員 (E)53名	4事業合計 332
第5条 (1) (4)	響き合う不思議なチカラ 音楽療法体感コンサート 2018 (アステラス・スターライト パートナー患者会助成)	(A) 2019年3月3日 13時30分～16時 (B)京都市北文化 会館 (C)28名	(D) パーキンソン 病の方 ご家族 地域支援者 (E)48名	277

第5条 (1) (4)	第13号機関紙発行	(A) 2018年7月20日 発行 (B)事務所 (C)2名	(D) パーキンソン 病の方 ご家族 地域支援者 (E)310件 団体、個人	58
----------------	-----------	--	--	----

収入に関しましては会費、寄付金の総額は前年度から約4%の減額となりました。

しかし、2018年度も京都新聞社会福祉事業団から運営活動費を長年にわたり助成していただいていることで、当法人の活動の必要性、信頼性を裏付ける物であり、私たちにとっては大きな資金源となっています。

助成事業は、京都新聞社の他にアステラス製薬やフランスベッドなどに採択して頂き、定例事業であるサロン交流会以外にも多くの事業を行うことができました。

支出に関しては助成事業を行うことで、収支バランスが上手くコントロール出来ない事業もありましたが、概ね助成金予算通りとなりました。

助成事業や企画事業に関しては、メンバーやボランティアと共にご指導をいただく先生方にも大変なご協力を頂いています。このようなご支援が私たちメンバーの気持ちを支えて頂いていることに大変感謝申し上げます。

2018年度も「書き損じはがき」のご提供が249枚ありました。

このハガキが皆様へ催し物やご連絡の案内として届きますので、どうか今後もご協力をお願いいたします。